

不退転

第 74 号
東江中学校
校長 神元 勉

九州相撲競技大会

10日(木)、名護市営相撲場で第45回九州中学校相撲競技大会が開催され、開会式で本校生徒会長・安富祖楓麻くんが、沖縄県の中学生を代表して、「歓迎のことば」を堂々と述べました。
■歓迎のことば…安富祖 楓麻



ハイサイ、グスーヨー、チューウガナピラ。ようこそ、沖縄県名護市へ。沖縄は日差しが強く、とても蒸し暑いところですが、熱中症対策をしっかり行って大会に臨んで下さい。

僕は九年間野球をしています。中学校最後の大会は、地区代表として県大会に出場しましたが、二回戦で敗退し、最後の夏が終わりました。現在は、陸上部のメンバーとして、秋の大会に向けて毎日練習に励んでいます。

どのスポーツでも共通して言えることは、仲間や指導者、そして家族に支えられ、競技ができていくということです。大会という場は、その人たちへの

感謝の気持ちを表すことのできる絶好の場だと思います。一生懸命プレーする姿や、あきらめない姿を見せることで、恩返しや感謝の気持ちを伝えることができると思います。



相撲は、道具を持たず、体一つを武器に、心と技で挑む文字通り『心技体』のスポーツだと聞いています。小さな土俵の中で、体と体がぶつかり合い、様々な技が繰り広げられ、一瞬で勝負が決まります。皆さんは、この瞬間の勝負のために、仲間と切磋琢磨し、厳しい稽古を積んできたことでしょう。各県の予選を勝ち抜いてきた皆さん、学校の代表、県の代表としての自信と誇りを持ち、気合いの入った自分らしい相撲を取ってください。

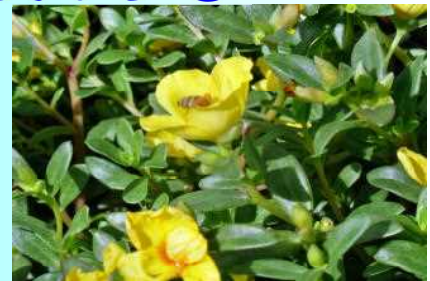
沖縄の方言に『イチヤリバチョーデー』という言葉があります。『一度出会えば皆兄弟』つまり、「出会った人には家族のように接しよう」とか「仲良くしよう」という意味です。短い沖縄での滞在になるとは思いますが、九州各地から集まった皆さんと、出会えた縁を大切に、それぞれの健闘を祈っています。チバリョー!



松田哲市先生は、県中体連相撲専門部長として、本大会の準備や運営を任されました。また、多くの先生方が役員や補助員として、手伝ってくれました。そして、3学年女生徒10名も表彰係として活躍しました。

大会を無事に終え、正に「チーム東江」で支えてくれたことに、哲市先生も感謝・感激だったようです。皆さん、本当にお疲れ様でした!!

暑さに負けず④



草刈りし隊 結成

23日(水)の陸上・駅伝練習の後、校庭や校舎周辺の草刈り作業をしてくれたのは、「草刈りし隊」の比嘉朝則・岸本圭祐先生、玉城満さん、PT AOBの又吉俊雄さんです。下地三保子先生と女子バレーボール部も手伝ってくれました。どうもありがとうございます。